

## 第34回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

### C.都市の再興・まちづくり

【HP 掲載No.05】

発表No.	C05
タイトル	ポストコロナにおける観光地 SNS マーケティング最適化にむけた基礎的研究 ～埼玉県長瀬町の事例～
所属・名前	ものづくり大学大学院 中村 亮太 松本 崇洸 田尻 要 ものづくり大学 守家 和志 埼玉県立いずみ高等学校 木村 奏太 埼玉県長瀬町 稲福 光樹
キーワード	① 中山間地域の観光地 ② SNS マーケティング ③ ポストコロナ
<p>2019年に発生した新型コロナウイルス（以降「コロナ」と略）の影響により観光地は大きな打撃を受けた。感染拡大の不安があるいっぽうで、外出抑制措置が解除されるなど地域経済の再開に向けた動きがみられる。観光地においてはコロナ禍で変化した来訪者の属性や意識を把握し、ポストコロナにおいて来訪しやすいまちづくりが必要となる。</p> <p>埼玉県長瀬町（以降「長瀬町」と略）は東京都心から約2時間の自然観光資源に恵まれた観光地であり、コロナ禍においても一定の来訪者がいた。いっぽうでコロナ前後において客層の属性に変化が見られ若年層の来訪者が増加した。</p> <p>そこで本研究では、コロナを機に長瀬町へ来訪した人をリピータ化しさらなる観光振興を図るため、若年層の情報収集媒体として主流である SNS に着目し、観光事業者が行う SNS 投稿と閲覧者に及ぼす影響を分析・検討した。</p>	